

2015 年度社会情報教育研究センター研究活動等報告

■ 政府統計部会 部会別研究活動等

1. 研究論文・著書

著書名：「統計検定 統計調査士試験 対策コンテンツ 第3版」

発行機関：立教大学 社会情報教育研究センター

発行年月：2015 年 9 月

著者氏名：櫻本 健、坂田 大輔、鈴木 雄大、荒井 美智江

掲載種別：著書（テキスト）

共著区分：共著

櫻本 健 准教授

1. 学会発表

日時：2015 年 9 月 11 日

学会名等：経済統計学会 2015 年度全国研究大会

場所：北海学園大学

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「将来日本の経済規模を維持する条件—ソロー残差に基づくシミュレーション—」

日時：2015 年 10 月 28 日

学会名等：立教大学経済学部・学部プロジェクト研究

場所：立教大学 池袋キャンパス 12 号館共同研究室

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「22 世紀に向けた経済成長と移民受入のバランス」

日時：2015 年 12 月 18 日

学会名等：「アジア経済統合下における開発計画策定と統計整備：一次統計・加工統計の整備・利活用の現状と課題」研究会(基盤研究(B) 課題番号 15H05181)

場所：京都大学 総合研究 2 号館

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「日本における SNA-IOT 整備の現状と課題」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：立教経済学研究 第 69 巻 第 2 号

タイトル：「22 世紀に向けた日本経済における経済財政計画に見合う移民受入の可能性
—政策間の整合性を中心に—」(pp.177- 203)

発行機関：立教大学 経済学研究会

発行年月：2015 年 9 月

著者氏名：櫻本 健

掲載種別：論文 (学部紀要)

共著区分：単著

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究(B)

研究課題番号：15H05181

採択テーマ：「アジアにおける国家間・地方間の越境交通・経済・環境の数量解析に関する
基礎研究」

研究期間：2015 年 4 月～2018 年 3 月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：金 広文

坂田 大輔 助教

1. 学会発表

日時：2015 年 5 月 9 日

学会名等：経済統計学会関東支部 5 月例会

場所：立教大学 池袋キャンパス 12 号館地下第 1 会議室

発表者：坂田 大輔

発表テーマ：「インドにおけるオープンデータ化の推進—data.gov.in における取り組みを
中心に」

日時：2015 年 9 月 11 日

学会名等：経済統計学会第 59 回全国研究大会

場所：北海学園大学 豊平キャンパス 7 号館 3 階 D30 番教室

発表者：坂田 大輔

発表テーマ：「インドにおけるオープンデータ利用環境の整備動向—data.gov.in における
取り組み」

2. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究(C)

研究課題番号：15K03393

採択テーマ：「インドの小地域住民全数データを参照基準とした途上国自治体統計制度改革
の研究」

研究期間：2015年4月1日～2018年3月31日(予定)

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：岡部 純一

鈴木 雄大 学術調査員

1. 学会発表

日時：2015年9月9日

学会名等：2015年度統計関連学会連合大会

場所：岡山大学 津島キャンパス

発表者：鈴木 雄大

発表テーマ：「企業物価指数を利用した規模別・需要段階別の価格動向」

日時：2015年9月11日

学会名等：経済統計学会第59回全国研究大会報告

場所：北海学園大学 豊平キャンパス

発表者：鈴木 雄大

発表テーマ：「品質調整におけるヘドニック・アプローチ」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：立教経済学研究 第69巻第2号

タイトル：「CPIの品質調整におけるヘドニック・アプローチその展開と到達点」
(pp.229-248)

発行機関：立教大学経済学研究会

発行年月：2015年10月

著者氏名：鈴木 雄大

掲載種別：研究ノート(学部紀要)

共著区分：単著

■ 統計教育部会 部会別研究活動等

山口 和範 教授

1. 学会発表

日時：2015 年 7 月

学会名等：IASE Satellite Conference 2015 にて発表

場所：the Universidade Federal do Estado do Rio de Janeiro (Rio de Janeiro, Brazil)

発表テーマ：「LEADERSHIP SKILL DEVELOPMENTS IN STATISTICS LEARNING」

発表者：Kazunori Yamaguchi, Michiko Watanabe

日時：2015 年 9 月 7 日

学会名等：2015 年度 統計関連学会連合大会

場所：岡山大学

発表テーマ：「統計教育大学間連携ネットワーク連携校報告 II：

立教大学における「データサイエンス」副専攻構想」

発表者：山口 和範

2. 研究論文・著書

著書名：「ビッグデータ時代に求められる統計的思考力」

発行機関：日本科学技術連盟

発行年月：2015 年 10 月

著者氏名：山口 和範

掲載種別：著書（書籍）

共著区分：単著

3. 依頼講演

日時：2015 年 10 月 22 日

講演名等：ビジネスにおける統計データ利活用セミナー

主催：青森県企画政策部 統計分析課 統計情報分析グループ

場所：青森市「ラ・プラス青い森」(2F カメリア)

講演テーマ：「ビックデータ時代の統計学」

講演者：山口 和範

日時：2015 年 11 月 18 日

講演名等：品質月間特別講演会

主催：一般財団法人日本科学技術連盟、一般財団法人日本規格協会、日本商工会議所

場所：北海道建設会館 9階大ホール

講演テーマ：「ビックデータ時代に必要とされる統計的思考力」

講演者：山口 和範

大橋 洸太郎 助教

1. 学会発表

日時：2015年11月29日

学会名等：外国語教育学会第19回研究報告大会

場所：東京外国語大学 アゴラグローバル3F 会議室

発表者：高嶋 幸太、大橋 洸太郎

発表テーマ：「日本で教える母語話者教師が考えるよい外国語教育
ー自由記述データと捕獲率を用いた分析からー」

日時：2015年12月6日

学会名等：第6回横幹連合総合シンポジウム

場所：名古屋工業大学

発表者：大橋 洸太郎、小熊 祐子、渡辺 美智子

発表テーマ：「歩数パターンの潜在的類型化およびその体組成指標との相関モデル構築
のための統計処理手法の提案」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：企業環境研究年報

タイトル：「DeLury法を用いた自由記述における知見の種類数の捕獲率
ー授業評価アンケートへの資源量推定法の応用ー」

発行機関：日本教育心理学会

発行年月：2015年3月

著者氏名：大橋 洸太郎、豊田 秀樹、池原 一哉

掲載種別：論文

共著区分：共著

丹野 清美 学術調査員

1. 学会発表

日時：2015年11月5日

学会名等：第53回日本医療・病院管理学会学術集会

場所：アクロス福岡

発表者：丹野 清美

発表テーマ：「診療プロセスにおける患者の意思決定の **Regret** と患者要因の関係
ー子宮・卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍患者における過去起点コホート研究ー」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：日本医療・病院管理学会誌 2015 52(4) pp.5-15

タイトル：「日本語版 **Decision Regret Scale** と健康関連 QOL、患者要因の関係
ー鼠径ヘルニア・胆石症・胆嚢炎・胆嚢ポリープ患者における横断研究ー」

発行機関：日本医療・病院管理学会

発行年月：2015 年 11 月

著者氏名（共著者含）：丹野 清美、高木 安雄

掲載種別：研究論文（学会誌）

共著区分：共著

3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究課題番号：15K15177

採択テーマ：「臨床における患者の意思決定要因の研究」

研究期間：2015 年 4 月～2018 年 3 月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：丹野 清美

4. 依頼講演

日時：2015 年 5 月 15 日

講演名：医療におけるコミュニケーション教育講演

主催：独立行政法人国立病院機構 新潟病院

場所：独立行政法人国立病院機構 新潟病院 臨床検討会室

講師：丹野 清美

講演テーマ：「診療プロセスにおける患者の意思決定の納得と満足：

日本語版 **Decision Regret Scale** に関する研究」

対象：新潟病院 医療専門職

小野寺 剛 学術調査員

1. 学会発表

日時：2015 年 8 月 8 日

学会名等：経済統計学会関東支部 2015 年度月例研究会

場所：立教大学 池袋キャンパス 12 号館 地下第 2 会議室

発表者：小野寺 剛

発表テーマ：「道路からの距離帯による産業構成の変化について」

日時：2015 年 12 月 5 日

学会名等：経済統計学会関東支部 2015 年度月例研究会

場所：立教大学 池袋キャンパス 15 号館 10 階第 2 会議室

発表者：小野寺 剛

発表テーマ：「国道 16 号沿線地域における事業所分布の特徴」

■ 社会調査部会 部会別研究活動等

1. 学会発表

日時：2015 年 8 月 29 日

学会名等：数理社会学会第 60 回大会

場所：大阪経済大学 大隅キャンパス

発表者：多田 はるみ、前田 豊、朝岡 誠

発表テーマ：「戦後復興期における売春制度の変遷と参入経路

—「特殊飲食店女子組合員調査」の結果に基づく基礎的分析—

高木恒一 教授

1. 学会発表

日時：2015 年 9 月 12 日

学会名等：日本都市社会学会第 33 回大会テーマ部会

場所：静岡県立大学

発表者：高木 恒一

発表テーマ：「ジェントリフィケーションと都市政策：東京の場合」

2. 研究論文・著書

著書名：「“生きる” 時間のパラダイム—被災現地から描く原発事故後の世界」

第 1 章「原発反対運動のなかの科学知—専門知の変換としての環境学習」

(pp.11・29)

発行機関：日本評論社

発行年月：2015 年 4 月

著者氏名：高木 恒一

掲載種別：単行本

共著区分：単著

タイトル：「都市政策のなかの住宅問題—東京都における住宅政策の変遷」

掲載誌：季刊 iichiko 126 号 pp.58-68

発行機関：文化科学高等研究院

発行年月：2015 年 4 月

著者氏名：高木 恒一

掲載種別：学術雑誌

共著区分：単著

タイトル：「市民アーカイブズとアカデミズム」

掲載誌：アリーナ 18 号別冊 pp.142-150 (担当：pp.142-149)

発行機関：中部大学

発行年月：2015 年 11 月

著者氏名：平野 泉、高木 恒一

掲載種別：雑誌（紀要など）

共著区分：共著

5. 依頼講演

日時：2015 年 5 月 24 日

講演名：市民アーカイブ多摩開館 1 周年集会

主催：市民アーカイブ多摩

場所：たましん RISURU ホール

講師：高木 恒一

講演テーマ：「市民アーカイブを活用する！立教大学共生社会研究センターの歩みから」

対象：一般

日時：2015 年 7 月 17 日

講演名：福島原発事故情報公開アーカイブ公開記念シンポジウム

「福島第一原発事故とアーカイブ-情報を集める、共有する、見える化する。」

市民アーカイブの可能性」基調講演

主催：特定非営利活動法人 情報公開クリアリングハウス

場所：明治大学 駿河台キャンパス

講師：高木 恒一

講演テーマ：「市民が記録をつくる、残す、共有する」

対象：一般

朝岡 誠 助教

1. 学会発表

日時：2016 年 3 月 17 日

学会名等：数理社会学会第 61 回大会

場所：上智大学 四谷キャンパス

発表者：朝岡 誠

発表テーマ：「誰が社会的投資を行なうのか—ISSP データによる検討—」

前田 豊 学術調査員

1. 学会発表

日時：2016 年 3 月 17 日

学会名等：数理社会学会第 61 回大会

場所：上智大学 四谷キャンパス

発表者：前田 豊

発表テーマ：「人々はどうのように他者所得を認知しているのか？—2015 年 SSP 調査データによる分析 (3) —」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：ICES Working Paper No.194

タイトル：Can Japanese Firms Get Along with Highly Skilled Foreign Workers? :

Intentions among Former International Students to Settle and Work in Japan

発行機関：Institute of Comparative Economic Studies Hosei University

発行年月：2015 年 9 月

著者氏名：Rui Yamaguchi, Yutaka Maeda

掲載種別：論文（機関紀要）

共著区分：共著

掲載誌名：理論と方法 59 号

タイトル：Joël Berger and Andreas Diekmann, “The Logic of Relative Frustration:

Boudon’s Competition Model and Experimental Evidence”, *European Sociological Review* 31(6): 725–737, 2015.

発行機関：数理社会学会

発行年月：2016 年 3 月（予定）

著者氏名：前田 豊

掲載種別：論文紹介（学会誌）

共著区分：単著

■ 社会情報教育研究センター事務局

加藤 倫子 教育研究コーディネーター

1. 学会発表

日時：2015 年 11 月 22 日

学会名等：日本犯罪社会学会 2015 年度全国大会

場所：桐蔭横浜大学 法学部棟 4 階 J401 教室

発表者：加藤 倫子、伊藤 茂樹、仲野 由佳理

発表テーマ：「「立ち直り」のゴールはいかに設定されうるか?—非行少年の社会復帰支援と保護観察官(3)」

2. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究(C)

研究課題番号：15K04375

採択テーマ：「非行少年の社会復帰とその支援に関する教育学的研究」

研究期間：2015 年 4 月～2018 年 3 月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：伊藤 茂樹